

## 亀岡市新火葬場整備検討審議会（第1回）議事録

- ◆日 時：平成29年3月28日（火）午前9時30分～10時40分
- ◆場 所：亀岡市役所1階、市民ホール
- ◆内 容：委嘱状の交付、会長及び副会長の選出、諮問、今後のスケジュール
- ◆出席者：槇村委員、武田委員、塚本委員、井上委員、田中委員、竹内委員、齋藤委員、櫻井（邦）委員、辻村委員、菱田委員、田村委員、山口委員、伊藤委員、櫻井（俊）委員、坂口委員、立花委員、桂幹事、柏尾幹事（出席委員：20名中、16名）

### ○委嘱状の交付（市長から委員へ）

（市長挨拶）亀岡市は第4次亀岡市総合計画、夢ビジョン、基本計画の中でもこの新火葬場の建設を位置づけています。これまでいろいろと経過があるかと思いますが、京都縦貫道ができたことによって、近隣の市町村からもそれができれば火葬させていただけないかという意見を聞くところでもあります。そんなことも含めて、審議会の中で忌憚のないご意見をいただければと思います。

この間、審議会の実施が遅れていたことをお詫び申し上げ、亀岡市の無くてはならない施設をいい形に方向性を出していただきますようお願い申し上げ、皆様へのお礼とお願いのご挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしく願い申し上げます。

### ○会議成立、20名中、16名の出席（審議会条例第5条第2項）

### ○会長及び副会長の選出、事務局（案）のとおり承認（審議会条例第4条）

〔会長：槇村委員、副会長：武田委員に決定〕

（会長就任挨拶）ご紹介いただきました京都女子大学の槇村でございます。ご推挙ということで会長を務めさせていただきたいと思っております。

元々墓地から始めまして、葬送墓制、火葬場も含めた研究は30年以上になります。人口動態の関係もあり、多死社会と言われる時代になりました。家族の形も変わり、新しい形の葬送墓制のあり方がアジアの国々や日本でも課題となっています。今回亀岡市で新しい火葬場に取り組むということで、委員の皆様方のご意見を拝見しながらいい答申が出来ればいいなと思うところがございます。どうぞよろしく願い致します。

○諮問（市長から会長へ）

〔市長退席〕

○今後のスケジュール（事務局説明）

※委員からの意見

- ・スケジュールの前に、全ての委員さんが過去 20 年以上前の話（経緯・経過）をご存じなのか。その整理が冒頭から必要ではないのか。
- ・過去の経過で揉めることがある。過去の経過と積み残した問題を明確に分けて進めることを希望します。
- ・丸山で都市計画決定する中で構想は決まっている。従って、構想ではなく実施の計画を検討するべきではないか。いろいろ経過があるが早期整備を望みます。
- ・現火葬場及び新予定地（丸山）の経過等、財産区や自治委員等の協議経過を聞いてください。
- ・初めに経過等を共通に理解する場が必要。それから、先生方のアドバイスや市民の立場等いろいろな観点から方向性を出していくべき。
- ・これまでの経過を時系列で出してもらい共通認識をもつべき。ただ、スケジュールは予定通り進めてもらいたい。

（副会長）閉会あいさつ

貴重な委員会に参加させていただきどうもありがとうございます。いろいろと勉強させていただき、美しい自然的・文化的な資産がある亀岡に相応しい火葬場の計画を一緒に検討させていただけることを大変光栄に思っています。

◆決定事項等 会長：楨村委員、副会長：武田委員

◆次回（第 2 回）審議会で火葬場のこれまでの経過について、審議会全体の共通認識とする勉強会を実施する。